

新型コロナウイルス感染者の発生について

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま及び関係者の皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに、医療従事者はじめ感染防止にご尽力いただいている皆さまに、深く感謝を申し上げます。

当社社員1名（宮城県在住の社員（以下、該当社員））からの新型コロナウイルス検査の結果が陽性であったとの報告を受けて、今日（4/27）までの経緯をご報告致します。

[経緯]

4/12（日）該当社員、ラフィネ イオン仙台幸町店 巡回。

4/13（月）該当社員、ラフィネ イオン多賀城店 巡回。

4/14（火）午後、発熱（37.0～38.7℃）、頭痛、鼻づまり及び全身の倦怠感。

4/15（水）症状が改善しないため医療機関を受診（インフルエンザ陰性、肺炎の症状なし、熱以外の症状なし）

4/16（木）症状が改善しないため医療機関に相談。本人から保健所に電話し検査を要請。検査不可の報告を受ける。医療機関から「帰国者・接触者相談センター」にも相談し、PCR検査対象となる。

4/17（金）「帰国者・接触者外来」を受診、PCR検査の実施。

4/18（土）検査の結果、陽性の判定。

保健所から該当社員に聞き取りがあり、過去14日間の行動歴および接触歴の詳細を報告。保健所から「濃厚接触者は発症以降に接した人」との説明があり、濃厚接触者は「同居の家族のみ」と報告。

保健所に該当社員から他の人物（セラピスト）への感染可能性について質問。「店舗巡回は発症前日（4/13）までで、発症後（症状が出始めた4/14）であればウイルス感染の可能性があるが、13日までは全く症状が無かったため感染の可能性はない」との回答を受けた。また店舗スタッフ（セラピスト）が濃厚接触者には該当せず、該当社員からの感染リスクもないことから、保健所として休業は求めないとの回答のため、本社の判断として保健所の見解に沿って、休業の必要は無いと判断。

4/19（日）～22（水）2店舗（ラフィネ イオン多賀城店、ラフィネ イオン仙台幸町店）通常営業。

20（月）に該当社員は入院。

4/22（水）該当社員に保健所から「濃厚接触者の定義が変更（発症前の2日間に接触した人も濃厚接触者となる）」との連絡があり、改めて12、13日の行動歴や接触者についてのヒアリングを受ける。

定義の変更及び、「ヒアリング内容をもとに保健所にて濃厚接触者の該当を確認し連絡する」との指示から、4/23～ラフィネ店舗の休業を決定。

4/23（木）事前の休業決定及び、宮城県の休業要請指示に従い、2店舗（ラフィネ イオン多賀城店、ラフィネ イオン仙台幸町店）は当面の間 休業。

午前中、該当社員に保健所から連絡があり、濃厚接触者の該当が店舗スタッフ（セラピスト）までとなる旨伝えられる。午後、保健所から該当する濃厚接触者に電話で過去2週間の健康状態の確認が行われた。

4/24（金）午前中、保健所から該当社員の上長へ、該当する濃厚接触者のPCR検査が必要との連絡があり、イオン側に状況説明。夜、イオンよりイオンの内部規定で臨時休業し消毒することの報告を受ける。イオン2店舗のWebサイトにて「ラフィネ本社スタッフ ※1」陽性との掲載。

4/25（土）消毒清掃のため、イオン臨時休業。PCR検査をした店舗スタッフ（セラピスト）全員の陰性を確認。
4/26（日）イオン営業再開。

※1：該当社員は宮城県在住でエリア店舗の巡回を業務とする社員で、東京から移動し勤務（出張）はいたしていません。また、イオンWebサイトに記載の「ラフィネ本社スタッフ」とは、店舗勤務のセラピスト（業務委託者）と、社員とを区別をする意味でしたが、誤解を生じる表現となってしまいました。イオンWebサイトにて、現在もその表記となっている理由は以上となります。

なお現状、PCR検査陽性の該当社員は医療機関に入院中です。

他スタッフについても健康状態の確認を継続し、状況が変化しましたらお知らせいたします。

社内外への感染拡大の抑止に保健所及び関係各所と連携し対応してまいります。

経緯のご報告が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

このたびは関係者の皆さまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上